

保健医療学部 第5回(平成21年度)公開講座

メインテーマ：「安全・安心な医療における臨床工学技士の役割」

開講趣旨：臨床工学技士は、人工呼吸器、人工透析装置、人工心肺装置、心臓ペースメーカー、除細動器など、人の命を預かる医療機器の専門技術職です。また、医療法の改正によって、すべての医療機関では、医療機器の研修・保守点検・情報管理を責任を持って実施する「医療機器安全管理責任者」の設置が義務付けられましたが、その役割を臨床工学技士が担うことが多くなってきています。今回のセミナーでは、このような臨床工学技士を取り巻く状況の変化についての話と、代表的な臨床業務における臨床工学技士の役割についての話を、それぞれの専門の立場から分かりやすく解説させていただくつもりです。どうか、奮ってご参加下さい。

参加対象：臨床工学技士ならびに看護師をはじめとするすべての医療関係者、新しい医療職としての臨床工学技士にご興味のある一般の方

開催日時：平成22年2月13日(土) 13:30～16:30

会場：埼玉医科大学日高キャンパス 保健医療学部C棟 C302講義室

参加費：無料

プログラム：

1. 開会挨拶

13:30～13:40

保健医療学部長 大野良三

2. 臨床工学技士を取り巻く新たな状況

13:40～14:30

保健医療学部 医用生体工学科 加納 隆

(内容) 医療法改正による「医療機器安全管理責任者」の役割と医療機器の安全管理はどこまで広がるか?について

3. 体外循環における臨床工学技士の役割

14:40～15:30

保健医療学部 医用生体工学科 見目恭一

(内容) 心血管手術時の命の綱“人工心肺”を中心に手術の流れと臨床工学技士業務について

4. 血液浄化における臨床工学技士の役割

15:40～16:30

保健医療学部 医用生体工学科 山下芳久

(内容) 血液浄化療法の種類とそれを実際に行う臨床工学技士の役割について